



令和5年3月23日（木）発行

学校だより No.17

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

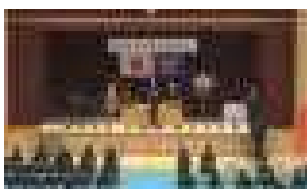
《目指す生徒像》 ○ 向学 ……自ら学ぶ生徒
○ 礼節 ……思いやりのある生徒
○ 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を伸ばすワンポイントアップ大作戦～」

50名の卒業生が西中を力強く巣立つ（卒業式を振り返る）



3月13日（月）、第57回沼田西中学校卒業証書授与式が行われました。校長より一人一人に卒業証書を手渡しましたが、それぞれが引き締まった表情で、これから始まる新しい生活への決意と意欲が感じられました。

本年度は、3年ぶりに在校生も参加し盛大な卒業式となりました。卒業式は、学校で最大の行事と言われますが、それは規模的なことだけではなく、義務教育の集大成という意味で内容的にも最大だということです。そういう意味で、3年生の卒業後の生活に向けての決意が表れた立派な態度、3年生への感謝の気持ちを真剣な態度で表した在校生、そして保護者の皆様の我が子の卒業を心から喜ぶ温かな心、また私たち教職員も心を込めて3年生を見送り、それら全てが重なり合い、最大の学校行事に相応しい心温まる素晴らしい卒業式となりました。

この素晴らしい卒業式の良き伝統を、是非来年度以降も引き継いでいきましょう。

1年後・2年後の進路に向けて（1・2年生進路学習会より）



公立後期選抜の2日目である3月9日（木）の5・6校時に、本校の卒業生を講師に招いて、1・2年対象の「進路学習会」が行われました。各高校から集まった卒業生達は、自らの経験を基に中学生のうちに頑張っていることや取り組んだ方がよいことなど、また、現在の高校生活を振り返り高校と中学の違いや高校生活のやり甲斐や苦労等を話してくれました。自らの経験等を基にした話ですのでとても説得力があり、1・2年生も真剣な眼差しで話に聞き入っていました。

今回の「進路学習会」をきっかけに各自が自分の進路についての意識を更に高め、自分自身の生活を振り返り、これからの中学校生活をどう過ごせばよいのかという見通しを立て、自己の進路実現に向けて中学校生活を充実させてほしいと思います。

専門委員会活動の充実に向けて（令和5年度専門委員長選挙より）

先日行われた生徒総会において、専門委員長選挙について提案され可決・承認され規約改正されたことを受け、各専門委員長に2年生9名が立候補し3月20日（月）に投票が行われました。



立候補届け出用紙には、「当選したらどんな活動をするのか、どんな委員会にしていくのか」や「自己PR」を記入する欄があり、立候補者が自分の考えを明確に示して「やる気」を伝えていました。感心したのが、各委員会の活動の特徴をよく理解し、今までの取組の成果を引き継ぎ更に発展させていく取組が具体的に示されていたことです。

これらの具体策が「絵に描いた餅」で終わらないように、4月からスタートする新体制での委員会で計画をしっかりと立て、それに沿って実践し、西中生全員が充実した学校生活が送れるようにしていきましょう。

春休みも3つの気のワンポイントアップを図り新年度の良いスタートへ！

下記の3点は、昨年度の学校だよりに掲載した「新年度の良いスタートに繋がる春休みの過ごし方」です。本年度のテーマは「3つの気のワンポイントアップ」ですから、1年間の集大成として春休みに下記の3点のワンポイントアップを図り、新学期の良いスタートに繋げていきましょう。

- ① 1年間の学習内容の復習や新学期に備えて規則正しい生活に、「やる気」をもって主体的に取り組むことが大切です。
- ② 春休みは、自分で過ごす時間が増え様々な誘惑もありますので、「勇気」をもって正しく判断し、また家の手伝いや部活等で友達と協力し合って支え合うことが大切です。
- ③ 上記①・②に「根気」強く取り組むことが大切です。そのために、春休みが終わった時、どんな自分になっていたいか、という目標を立て、それに向かって粘り強く取り組んでいきましょう



4月になると、1・2年生それぞれ学年が一つずつ上がります。4月になれば自動的に学年が上がると安易に考えるのではなく、あさってから始まる春休みをしっかりと過ごすことで、学年が上がるのに相応しい力や態度を身につけてほしいと思います。そして、毎年3年生が乗り越えてきた入試等の進路が、1年後・また2年後に待っています。時間はあっという間に過ぎてしまいます。一日一日を大切に自分の力を伸ばすために努力を積み重ねていってほしいと思います。

お知らせとお願い

◎男女混合名簿（性別によらない名簿）の使用について

本校では、これまで名簿は男女別の名簿を使用してきました。しかし、この男女別名簿は、男女共同参画社会やジェンダーフリー平等などの観点から、人権教育や男女平等の考え方を育てる学校として、その見直しをしていく必要があると考えます。全国的に見ても9割以上、群馬県内でも8割以上の学校がすでに男女混合名簿を使用しています。沼田市教育委員会でも、今後は男女混合名簿の使用を考えていることから、本校としては令和5年度から男女混合名簿（性別によらない名簿）を使用することとしました。生徒にとっては、これまで男女別名簿を使用してきたため、初めは戸惑いがあるかと思うので、導入の理由を説明していきたいと思います。

これを機会に、性別にかかわらず個の能力が発揮できるよう教育活動を益々充実させていきたいと思います。

なお、健康診断や保健指導等、男女別にする必要がある場合は、男女別名簿を使用します。

1年間、大変お世話になりました

本年度は、新型コロナウイルス感染防止のための対策を講じながら様々な教育活動を実践することができました。特に、運動会や合唱コンクール等では、生徒主体の活動を創り上げることができ、主体性と支え愛を伸ばすことができたと思います。この度も、保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力の賜と深く感謝申し上げます。誠に有り難うございました。来年度も、本年度の成果や課題を踏まえ、更に生徒の力を伸ばせるよう職員一丸となって取り組んで参りますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

《コラム～校長室より・校長の独り言～》

本年度も、普段の生活の中で見られた目立たないけど心温まる行いをたくさん紹介してきました。重いものを持っている人にそっと手を貸してあげたり、片付けの時に人の分まで率先して片付けてくれたりと、思いやりをもった行動を随所に見ることができました。目立たないところでこうした行動が取れるのは、自ら正しく判断しそれを実践に移すことができているからです。そして、そうした行動がたくさん見られたのは、思いやりのある行動を1回で終わりにするのではなく継続して行っていたということです。つまり、「やる気・勇気・根気」が身に付いた姿だったということです。

私は、そうした皆さんの心温まる行動からたくさんの幸せをもらいました。皆さん一人一人は、周りの人を幸せにできる素晴らしい存在です。たくさんの幸せをありがとうございました。

